



「赤膚、ないですね」

今井町の観光案内所で、去年からやっていた「赤膚繚乱」展。

郡山在住の女子大生は、赤膚とは奈良絵の絵付茶碗のことだと思っていたらしい。まあ、いいけど……、とりあえず見に来てくれたんだから。

今回の赤膚焼の特別展示、面白かったのは歴史が分かるように物語になっていて、赤膚のルーツは実は郡山の城下町だったんだと、見に来た人に分かってもらえる。これ、いいですよ。この企画、続けてやってもらえたらと思うのですがどうでしょうね。とりあえず、奈良絵赤膚の大好きな、彼女のような人のために——。

(2020-03 赤膚繚乱)